

東日本大震災 3.11 の集い

宮城県亶理町に思いを寄せて

今だからこそ、東日本大震災について考えてみませんか？

2014年3月2日(日) 宇大峰キャンパス

東日本大震災から間もなく3年、「震災を風化させない」という思いを、この栃木の地から発信していきませんか。この企画では震災当時のこと、被災地の現状、そして、被災地のこれからについて、これまで宇大生が支援活動を行ってきた宮城県亶理町に着目して考えます。



苦米地サトロさん
亶理町在住のシンガー。『傍』の主題歌「満月」をうたう。震災後、役場前のプレハブで、妻の圭さんたちとFM放送局「あおぞら」を開設し、町民に情報を提供する。



『傍(かたわら)～3.11 からの旅～』
2011年3月11日、東日本大震災後、宮城県亶理町に暮らす友人のミュージシャン、苦米地サトロの安否を訪ね、カメラの旅は始まった。被災地の、被災者の傍らでの1年を描いた作品。監督 伊勢真一 製作 いせFILM
<http://www2.odn.ne.jp/ise-film/>

宮城県亶理町とは



亶理町は、宮城県の沿岸部に位置する人口30,000人ほどの町です。東日本大震災では多くの被害を受けました。宇都宮大学では、震災以来、継続して支援を行っています。

この集いは大学コンソーシアムとちぎ学生活動支援事業の助成を受けて実施します。

開催日時：3月2日(日)

12:30～16:30(開場12:00)

場所：宇都宮大学

峰キャンパス 峰が丘講堂

(栃木県宇都宮市峰町 350)

主催 宇都宮大学 学生ボランティア支援室
教育学部 社会福祉ゼミ

申込・問い合わせ 028-649-5072 070-5578-5934
gakubora@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp